

(仮称)新青森市屋内グラウンド整備について

令和7年7月4日

第1回 (仮称)新青森市屋内グラウンド整備に係る有識者会議 資料

(仮称)新青森市屋内グラウンド整備について

- ①整備の概要及び有識者会議について
- ②盛運輸サンドーム(青森市屋内グラウンド)の現状について
- ③青森操車場跡地の概要について
- ④今後のスケジュールについて

①整備の概要及び有識者会議について

【整備の概要】

盛運輸サンドームは、市全域が特別豪雪地帯に指定されている本市において、一年を通して天候に左右されずに利用できる、青森地域唯一の屋内グラウンドである。当該施設は、平成4年2月のオープン以来、野球、サッカー、グラウンドゴルフなど、例年17万人を超える方々に利用されており、本市として、重要な施設のひとつとなっている。

令和6年9月16日、共同経営・統合新病院の整備場所に関し、知事と市長が会談を行い、浜田中央公園・県営スケート場周辺を整備候補地とすることで合意し、このことに伴う課題解決のための具体策の中で、

○統合新病院の整備により移転が必要となるサンドームについては、青い森セントラルパーク地区に移転整備することを基本とすること

○サンドームを含む市有施設の移転や整備等の費用については、県が市に協力すること

と整理されたほか、令和7年3月28日に策定した「共同経営・統合新病院に係る基本計画」において

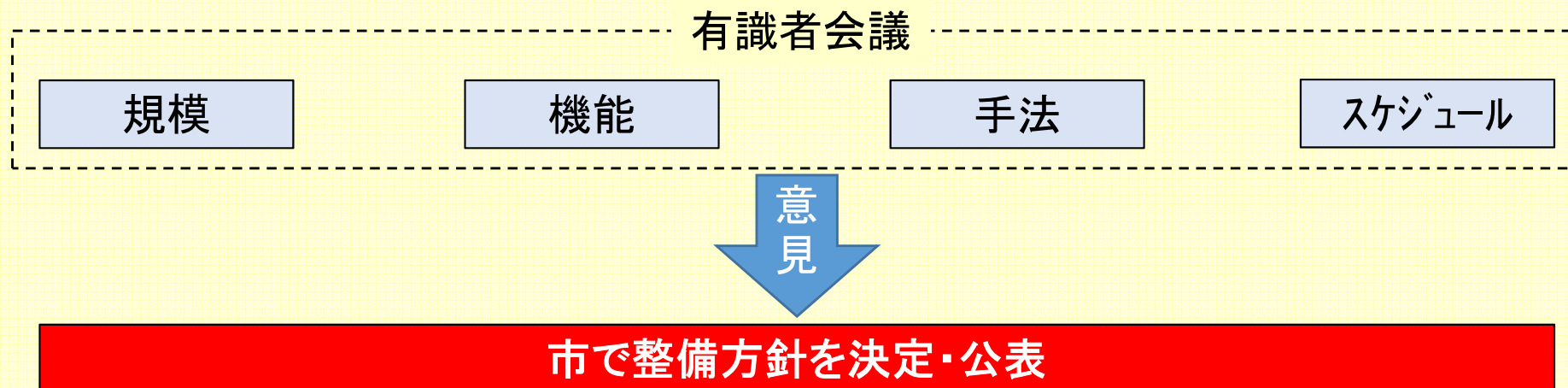
○現在のサンドームについては、代替施設が完成・移転後に解体工事に着手すること
としている。

①整備の概要及び有識者会議について

【有識者会議について】

有識者会議では、(仮称)新青森市屋内グラウンドに必要な規模、機能、事業手法、スケジュール等についてご意見をうかがうこととし、今年度で5回程度の開催を予定。

本市では、有識者会議でのご意見を踏まえ、施設の規模や機能等を含む整備方針を今年度中に決定し、公表する予定。



月 日	会議内容 ※予定
7月4日(金)	第1回会議(整備概要と会議、現在の施設、操車場跡地の概要を説明)
8月中を目途	第2回会議(利用団体等からの意見聴取)

※上記のほか、年内に3回程度の会議開催を予定

②盛運輸サンドーム（青森市屋内グラウンド）の現状について

【概要】

平成3年に竣工、平成4年に開館し、開館から33年が経過。

開館日：平成4年2月
 構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建
 敷地面積：15,642㎡
 建築面積：7,808㎡
 延床面積：8,878㎡
 主練習場：5,845㎡
 野球、ソフトボール、ハンドボール4面、ゲートボール8面、
 サッカー（50m×90m）、陸上競技（200mトラック、80mハードル、
 走り高跳、走り幅跳三段跳）、ラグビー（ハーフコート）、
 ジョギングコース：1周300m
 トレーニング室：187㎡
 第一会議室：66㎡（収容人員45人）
 第二会議室：59㎡（収容人員40人）

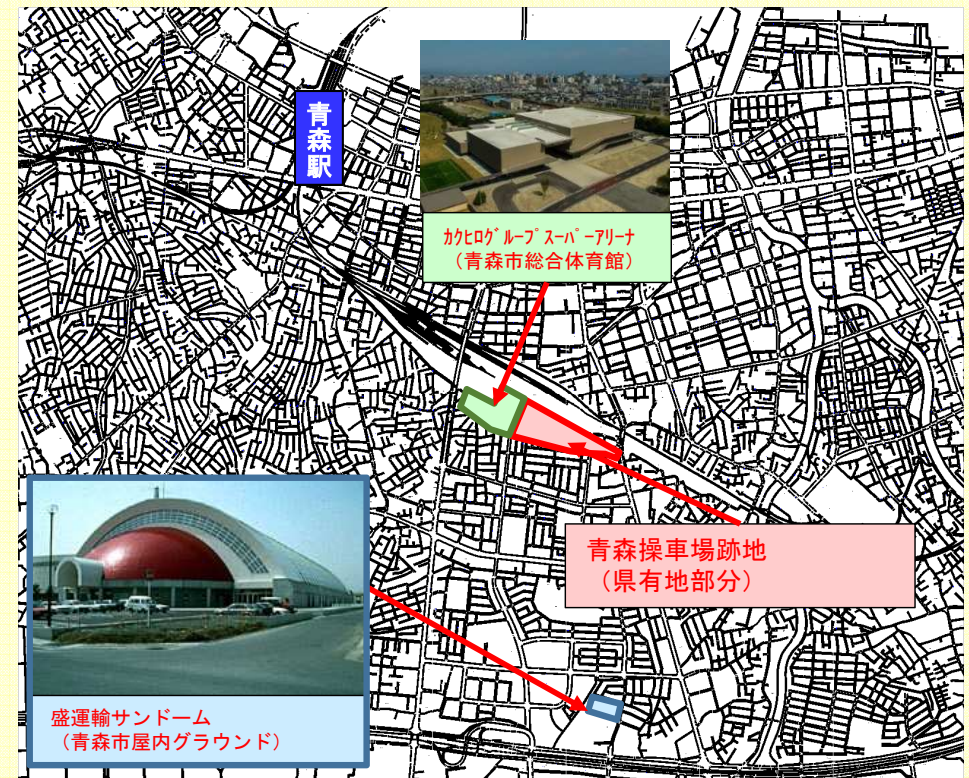
【主な利用】

R6年度競技別利用者割合

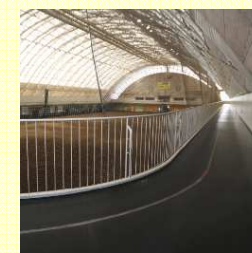
○野球	44.4%
○サッカー	29.8%
○運動会	11.1%
○グラウンドゴルフ	7.2%
○その他	7.5%

【利用人数】

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
利用者数(人)	170,099	116,995	100,791	134,895	176,361	176,950



主練習場



ジョギングコース



トレーニング室

③青森操車場跡地の概要

「青森操車場跡地利用計画」（平成31年3月・青森市）より

【土地利用の基本方針】

多様な交通でアクセスできる拠点

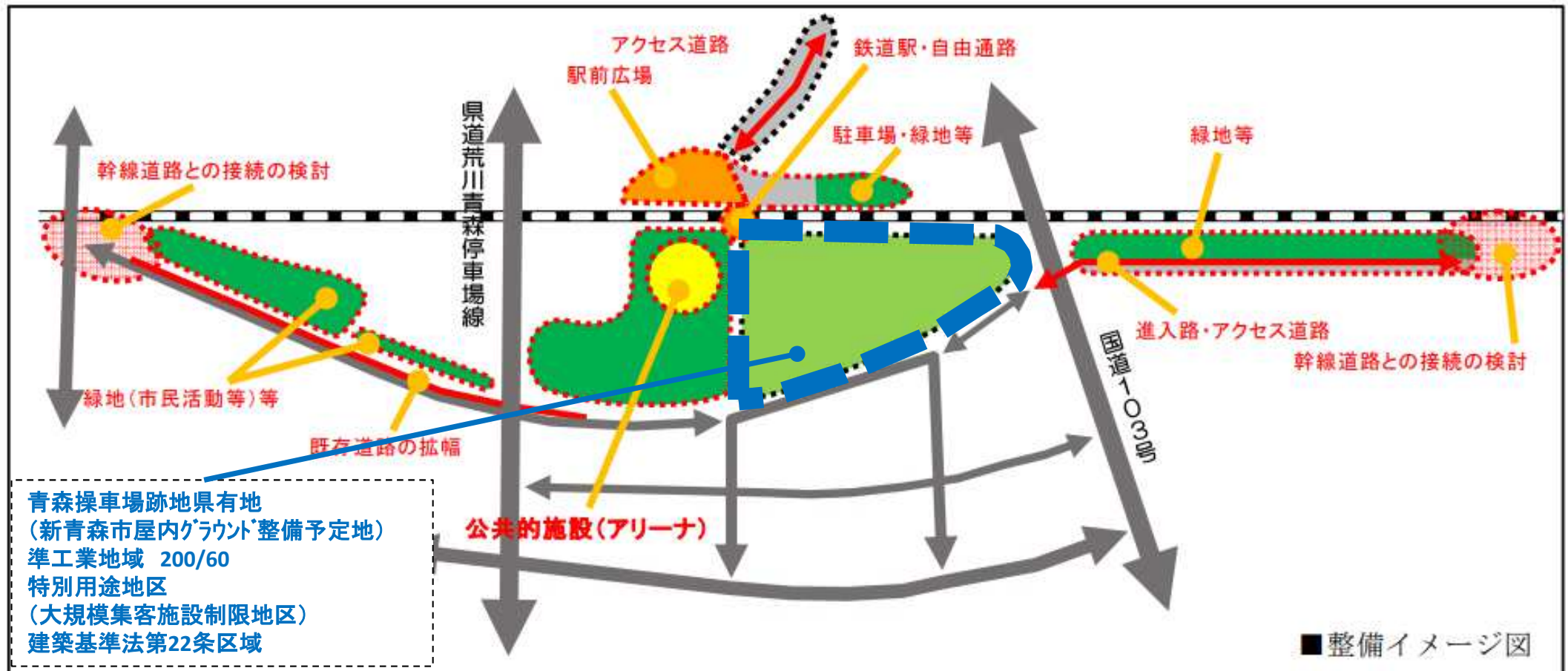
鉄道駅の設置やバス運行等をはじめとした交通環境の整備を図り、鉄道からバス・タクシーへの乗り継ぎや徒歩・自転車・自動車利用といった複数の交通手段をつなぎ、多様な交通でアクセスできる拠点を目指します。

地域の安心を支える緑豊かな拠点

これまでの広場（青い森セントラルパーク）としての機能を踏まえつつ、緑のネットワークを形成するなど快適な空間を創造するとともに、防災機能の強化を図ることにより、地域の安心を支える緑豊かな拠点を目指します。

にぎわいを生み出す健康・交流拠点

アリーナを整備することにより、スポーツを通じて心とからだの健康を育むとともに、多様な催事を通じて利用者の交流を図るなど、にぎわいを生み出す健康・交流拠点を目指します。



④今後のスケジュール

